



Nanjing
China

Global Conference on
Pharmacy &
Pharmaceutical Sciences
Education
7-8 November 2016

国際薬学連合・中国薬学会
薬学・薬科学教育国際会議
を南京で開催

文・レイアウト:尾関哲也(名古屋市立大学)
写真提供:山村重雄 先生(城西国際大学)

2016年11月7, 8日の2日間, 中国・南京で薬学教育に関する国際会議「Global Conference on Pharmacy and Pharmaceutical Sciences Education」が国際薬学連合(FIP)および中国薬学会の共催で開催され, 世界各国の薬学教育関係者ら約2,000名が参加し, 実務に携わる薬剤師および薬科学研究者の人材育成, 教育に関するグローバルビジョンの策定に向けてさまざまな観点から議論が交わされました。わが国からも永井記念薬学国際交流財団理事長の永井恒司氏をはじめ, 日本薬剤師会会長でFIPの副会長も務める山本信夫氏, 鈴木洋史日薬副会長(Program委員会メンバー)他薬学教育, 薬剤師教育に関わる関係者が多数出席し, グローバルな視点で薬学教育のリーダーシップを発揮するための提言策定において存在感を示しました。



▲パネル



▲会場の様子



▲FIP Education
Bill Charman 先生 (Monash University)



▲国際薬学連合 (FIP) 会長
Carmen Peña 先生



▲FIP Chief Executive Officer
Luc Besançon 先生



▲後列左より鈴木洋史先生(東京大学医学部附属病院)、山村重雄先生(城西国際大学)、寺田弘先生(新潟薬科大学)、山本信夫先生(日本薬剤師会)、橋田充先生(京都大学)、前列左側より伊藤美千穂先生(京都大学)、石井伊都子先生(千葉大学医学部附属病院)、永井恒司先生(永井記念薬学国際交流財団)、尾関哲也先生(名古屋市立大学)

2016 11 07